

令和4年度 第2回 可美小学校運営協議会 会議録

- 1 開催日時 令和4年9月15日(木) 10時から12時
- 2 開催場所 可美小学校 多目的ホール
- 3 出席委員 須佐克己会長 大畑耐智子副会長 朝比奈直 内山和博  
田中亜希子 中村裕康 河合さくら(学校支援コーディネーター兼務)  
高柳桃子(学校支援コーディネーター兼務)
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 浜松市市会議員 小野田康弘  
可美協働センター所長 土屋明久  
可美中学校長 北村健治
- 6 学校 中村孝夫校長 夏目聡美教頭 長谷川明美主幹教諭  
伊藤昌代CS担当教諭 河合昭子CSディレクター
- 7 浜松市教育委員会 教育総務課 鈴木陽子
- 8 傍聴者 なし
- 9 資格確認 司会の夏目教頭より 委員8人全員出席しているため、会議は成立している旨報告があった。
- 10 須佐会長挨拶
- 11 校長挨拶
  - ・避難情報発令時の学校の対応について説明があった。
  - ・30分間回泳・・・テレビ、ラジオ、新聞で 紹介された
  - ・スポーツの日 10月10日「浜松みんなのスポーツまつり」の校区対抗小学生リレーに可美小が出場する
- 12 授業参観
- 13 熟議 今回の議長は大畑副会長

(1)学校評価の中間報告について(長谷川主幹教諭より)

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」向上プランの重点目標の達成状況について子供・教員によるアンケートを行っている。R3年度と比較したアンケート結果が報告された。

それについて、各委員から以下の発言があった。

- ・学校評価がR3よりもR4の方が良い結果なのはなぜか？(朝比奈委員)  
→PDCAサイクルを生かし実践している成果と考えている(長谷川主幹教諭より)

- ・ICT教育 先生によって違いがあるのか？学年間で同じ進め方が良いと思う。

(田中委員)

→推進リーダーが中心になってICT教育を進めている。高学年はかなり使えるようになってきている。(校長より)

- ・学校評価について安心した。良い結果だと思った。(中村委員)

- ・授業のボランティアがいるとよい。(河合委員)
- ・子供たちはICT教育に高い興味と感心を持って取り組んでいる。情報活用を先生に教えてもらう。(小野田氏)
- ・ICTで作ったものを共有している。素晴らしい。(土屋氏)
- ・平等に学べるようによろしくお願いします。(大畑副会長)

## (2) 地域と連携・協議した教育活動の実践について

学校支援コーディネーターが活動に参加して下さった。

- ・4年生 地域の服部さんに戦争のお話を聞いた。モンペや千人針、焼夷弾等を見せて頂く。

＜コーディネーターのお話＞

戦争のお話を聞く機会をもっと作ってもいいと思う。(河合委員)

- ・2年生 収穫体験 齊田さんの畑で大根、じゃがいもの収穫を体験

＜コーディネーターのお話＞

畑までの道中の見守りをした。交通量の多い道を歩くので見守る人は多い方がよいと思う。子供たちは野菜がどのようにできているのか知らないなので、大切な機会。

- ・3年生 お手紙教室

増楽 高塚郵便局の方がお手紙の書き方を教えに来てくださる。

葉書を書いてポストに投函の経験

西郵便局見学へ行った。

ポストの中を見て投函(国語→社会のカリキュラム マネジメント)

＜コーディネーターのお話＞

実際に働いている郵便局の方と接することが大切だと思った。(河合委員)  
委員からは、以下の発言があった。

- ・地域連携 毎年決まっていると思うが、もっと外に出るのもよいと思う。  
(須佐会長)

- ・自治会より あいさつ、ラジオ体操、秋祭り 今年度も中止で、子どもとのふれあいが減っている。(内山委員)

→全国学力状況調査によると可美小は地域との結びつきが高い。

(長谷川主幹教諭より)

- ・子供たちを良くしたいということがとても感じられた。

9月15日小学校にて中学生と共に挨拶運動を行った。中学生たちは高揚していた小中交じり合うのは大切なことだと思う。(北村校長)

## 14 次回連絡事項

- ・夏目教頭より次回は令和4年12月6日(火)10時~12時  
可美小学校多目的ホールにて開催する旨報告があった。
- ・次回の議長は須佐会長